株式会社ジェーシー・コムサ

決算説明資料【2016年3月期】

http://www.jc－comsa.co.jp

本資料に記載された意見や予測などは資料作成時点での弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

株式コード： 2876

目次

頁	Ⅰ．業績動向について
4	損益計算書
6	貸借対照表
7	キャッシュ・フロー推移
8	セグメント別実績
9	食料品事業　販売先状況

頁	Ⅱ．今期の見通しについて
11	2017年3月期の見通し
12	配当政策について

頁	Ⅲ．会社概要と経営戦略
14	会社概要
15	沿革
16	ジェーシー・コムサグループ概要

頁	Ⅳ．事業別紹介
19	デルソーレ・ブランディング活動
23	外食事業
29	事業開発事業　～海外事業への取組み～

Ⅰ．業績動向について

2016年3月期 損益計算書

・売上高は食料品事業におけるピザ生地玉の受注の好調などにより、堅調に推移した。
・営業利益は前年度比+13.6%、経常利益は前年度比+14.4%、それぞれ前年を上回った。

※当社は2015年12月31日付で連結子会社であった爵士客香港控股有限公司の全株式を譲渡して子会社がなくなったため、当事業年度より連結財務諸表を作成していない。

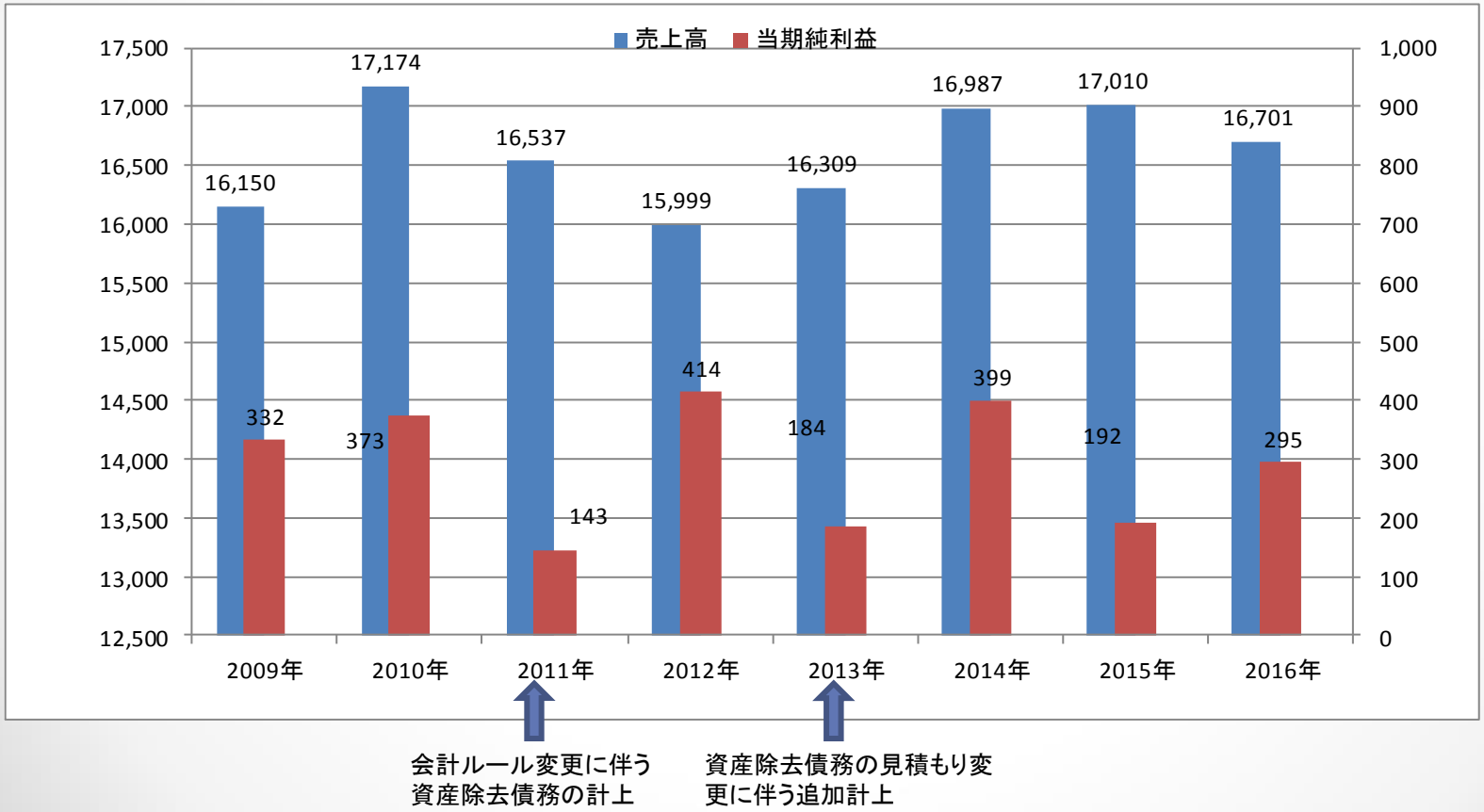
（単位：百万円）

	2015/3	構成比	2016/3	構成比	増減額	前期比（%）
売上高	17,010	100.0%	16,701	100.0%	▲309	▲1.8%
売上総利益	6,375	37.5%	6,598	39.5%	222	+3.5%
販売費及び一般管理費	5,714	33.6%	5,847	35.0%	132	+2.3%
営業利益	661	3.9%	751	4.5%	89	+13.6%
営業外収益	26	0.2%	24	0.1%	▲1	▲5.5%
営業外費用	31	0.2%	25	0.2%	▲5	▲18.6%
経常利益	655	3.9%	750	4.5%	94	+14.4%
特別利益	0	0.0%	7	0.0%	7	－
特別損失	67	0.4%	170	1.0%	102	+151.3%
税引前当期純利益	588	3.5%	587	3.5%	▲0	▲0.1%
当期純利益	266	1.6%	295	1.8%	28	+10.8%
EPS（1株当たり純利益）（円）	32.39	－	32.47	－	0.08	+0.2pt

2016年3月期 損益計算書　（※2015年3月期までは連結損益計算書の数値を記載）

※当社は2015年12月31日付で連結子会社であった爵士客香港控股有限公司の全株式を譲渡して子会社がなくなったため、当事業年度より連結財務諸表を作成していない。

・食料品事業では不採算商品の絞込みを徹底し、外食事業では不採算店舗の閉店を進め、利益率の拡大に努めてきた。2012年から、全社において周辺事業領域の拡大に努めて堅調な売上水準で推移した。



（単位：百万円）

2016年3月期　貸借対照表

(単位：百万円)

	2015/3	構成比	2016/3	構成比	増減
流動資産	4,888	54.6%	5,083	54.7%	195
現預金	1,667	18.6%	1,716	18.5%	48
売上債権	2,314	25.8%	2,287	24.6%	△26
棚卸資産	700	7.8%	817	8.8%	116
固定資産	4,068	45.4%	4,209	45.3%	140
有形固定資産	2,171	24.2%	2,388	25.7%	217
無形固定資産	261	2.9%	244	2.6%	△16
投資その他の資産	1,636	18.3%	1,576	17.0%	△60
資産合計	8,956	100.0%	9,292	100.0%	336
流動負債	3,076	34.4%	3,093	33.3%	17
固定負債	2,059	23.0%	2,184	23.5%	125
負債合計	5,135	57.3%	5,277	56.8%	142
純資産合計	3,820	42.7%	4,014	43.2%	193
負債・純資産合計	8,956	100.0%	9,292	100.0%	336

・総資産は92億92百万円、前期比3億36百万円の増加。有形固定資産の増加などによる。
・負債合計は52億77百万円、前期比1億42百万円の増加。主に未払法人税等の増加による。
・純資産合計は40億14百万円となり、前期比1億93百万円の増加。
・自己資本比率は43.2%、前年度対比で+0.5%の増加。

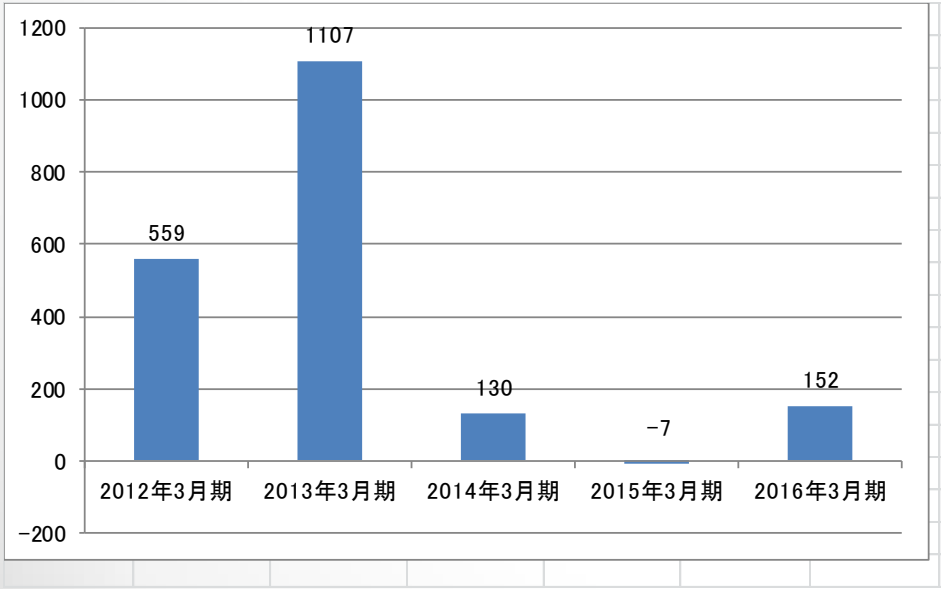
キャッシュ・フロー推移 （※2015年3月期までは連結キャッシュ・フロー計算書の数値を記載）

（単位：百万円）

	2012/3	2013/3	2014/3	2015/3	**2016/3**
営業キャッシュ・フロー	658	1,066	408	749	**720**
投資キャッシュ・フロー	▲98	40	▲278	▲756	**▲568**
財務キャッシュ・フロー	▲278	▲1,028	▲785	571	**▲103**

フリーキャッシュ・フロー（※）の推移

（単位：百万円）



2016年3月期の内訳説明

営業ＣＦ

・税引前当期純利益の増加(+)

・法人税等の支払額の増加(-)

投資CF

・有形固定資産の取得(-)

財務ＣＦ

・長期借入金の純減額(-)

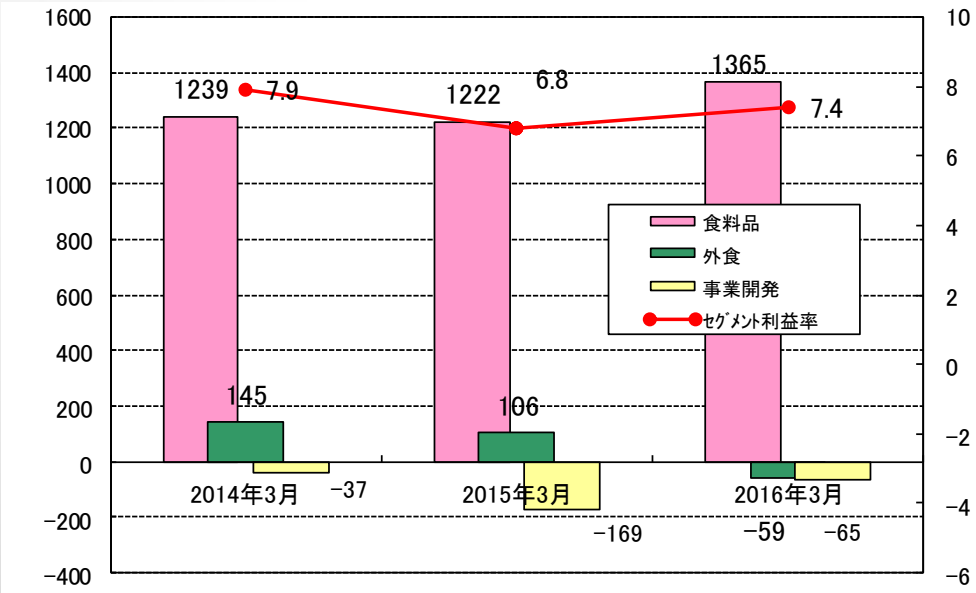
（※）フリーキャッシュ・フロー＝営業キャッシュ・フロー＋投資キャッシュ・フロー

2016年3月期　セグメント別実績　（※2015年3月期までは連結財務諸表の数値を記載）

（単位：百万円）

	2015/3			2016/3		
	売上高	セグメント利益	利益率	売上高	セグメント利益	利益率
食料品事業	12,178	1,222	10.0%	11,793	1,365	11.6%
外食事業	4,851	106	2.2%	4,924	▲59	－
事業開発事業	1	▲169	－	0	▲65	－
合　計	17,030	1,159	6.8%	16,718	1,240	7.4%

（単位：百万円）　**セグメント利益推移**　（単位：%）



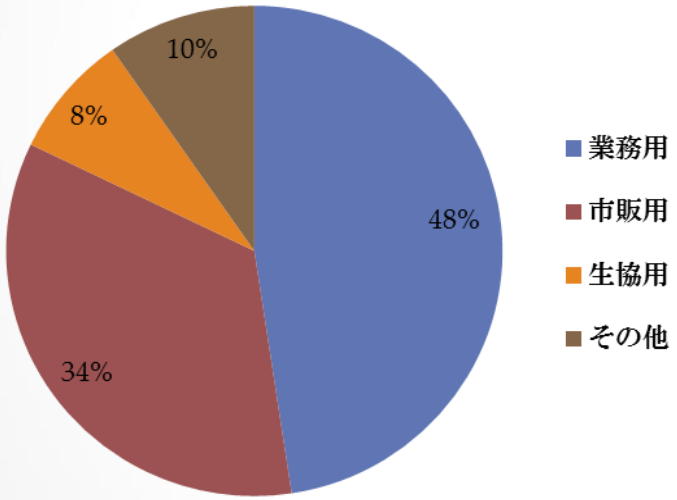
- 食料品事業は、専門店向けピザ生地玉などが順調に推移した。
- 外食事業は、新規出店した店舗の売上寄与などにより、売上高は前期比+73百万円増となった。
- セグメント利益は、食料品事業では戦略的な営業活動の強化などにより、前期比+11.7%増加、外食事業は原価高騰に加えて店舗の減損損失もあり、赤字に陥った。事業開発事業は、諸経費の計上等により前年度に引き続いて損失が発生した。

食料品事業　販売先状況

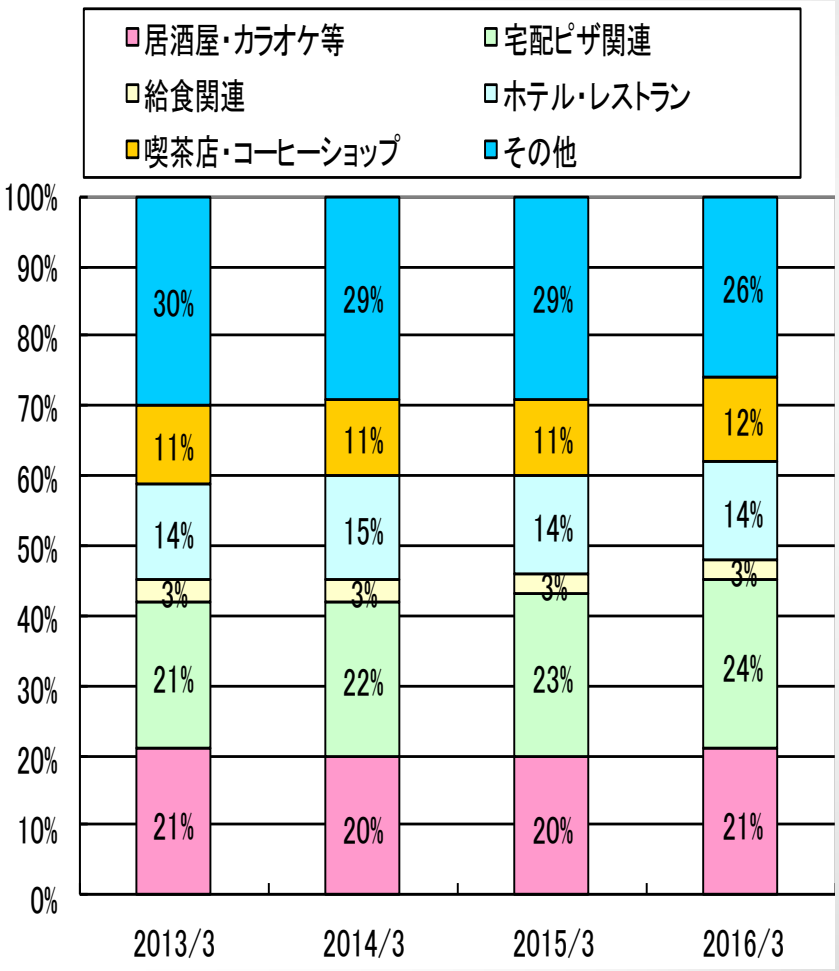
販売先別売上高の比率

業務用：法人向けなど、一般家庭向け以外の用途

市販用：小売店などでの消費者（一般家庭）向けの用途



業務用の内訳の推移



Ⅱ．今期の見通しについて

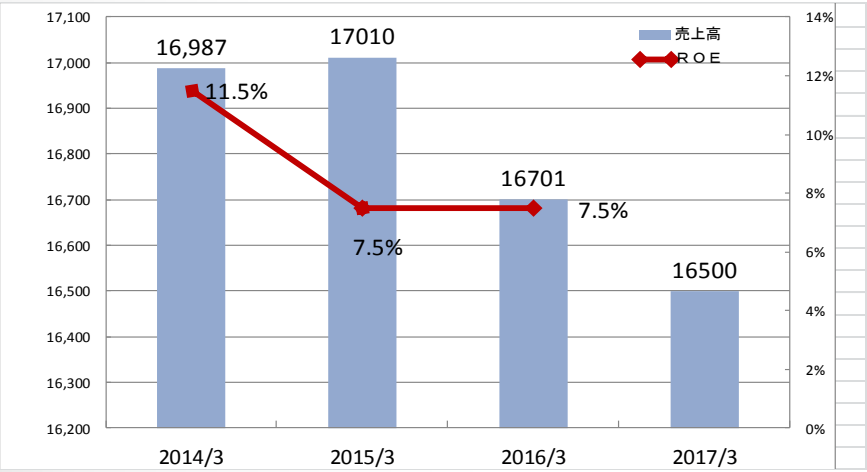
Ⅱ．今期見通しについて

2017年3月期の計画

（単位：百万円）

	2016/3	構成比	2017/3 計画値	構成比	前期比（%）
売上高	16,701	100.0%	16,500	100.0%	▲1.2%
営業利益	751	4.5%	700	4.2%	▲6.8%
経常利益	750	4.5%	700	4.2%	▲6.7%
当期純利益	295	1.8%	250	1.5%	▲15.3%
EPS（1株当たり純利益）（円）	32.47	―	27.46	―	▲15.4%

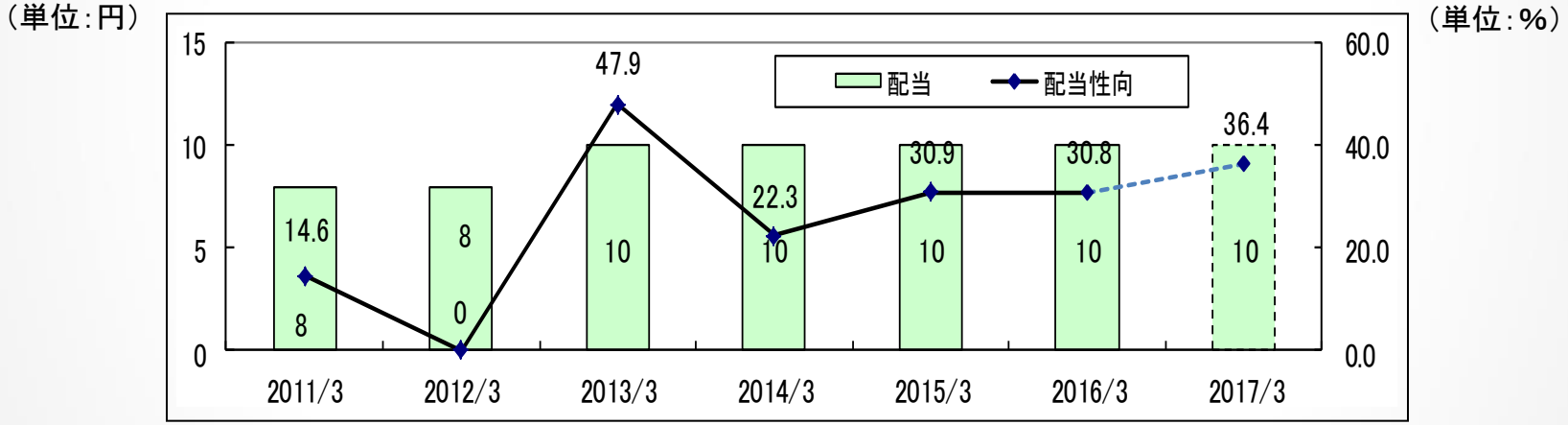
売上高(単位：百万円)　（ROE（%））



- 2017年3月期は不透明な個人消費の動向に加え、主要原材料である小麦粉、チーズ価格の見通しも不透明で、引き続き厳しい経営環境が予測される。
- 食料品事業部、外食事業部共に外部環境の変化に備えた重点施策への取り組みを行うことなどにより、当期純利益250百万円を見込む。

配当政策について

- 2017年3月期は個人消費の動向並びに原材料価格等の不透明感などにより引き続き厳しい情勢であるが、10円配当を予想している。内部留保資金については、将来にわたる生産設備の増強及び物流体制の強化、並びにブランド戦略に沿った好立地への出店のための資金需要に備える。
- 2016年3月期は会社の継続的発展のために、財務体質を更に強化し将来に備えるとともに、株主の皆様に対する適正かつ安定的な利益の還元を経営の重要政策として位置づけ、期末配当金については下記の基本方針に則り、前年度に引き続き、1株につき10円配当とした。



配当政策に関する基本方針

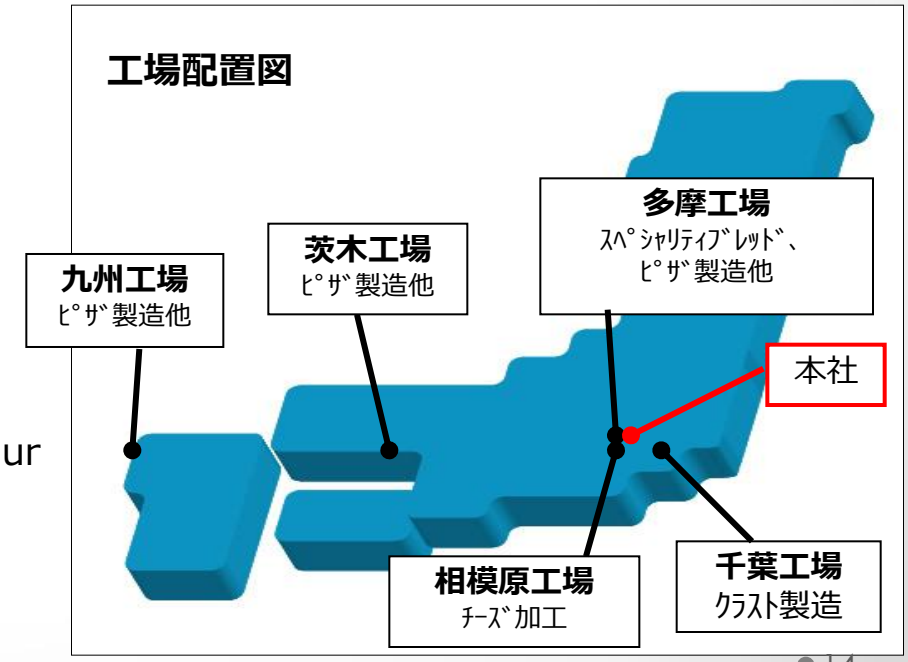
- 株主の皆様に対する利益配分を経営の最重要課題の一つであると認識しており、業績の反映及び今後の事業計画、財務状況等を総合的に勘案したうえで実施することを基本方針とする。
- 今後予想される経営環境の変化に対応すべく、将来の事業展開と経営体質の強化のため必要な内部留を確保しつつ、業績に裏づけされた利益還元を行っていく。

JC COMSA Corp.

Ⅲ．会社概要と経営戦略

会社概要

- 社名　株式会社ジェーシー・コムサ
- 本社　東京都渋谷区恵比寿南一丁目15番1号
- 設立　1964年（昭和39年）11月19日
- 資本金　9億2,293万円
- 売上高　167億1百万円（2016年3月期）
- 発行済株式数　9,105,290株
- 従業員数　社員321名
- 事業内容　食料品の製造・加工及び販売、外食産業、その他
- 食料品事業（ピザ関連事業）
- 営業所　東日本支店　全国市販グループ（東京都稲城市）
  名古屋支店（名古屋市東区）
  大阪支店（大阪市淀川区）
  九州支店（福岡県古賀市）
- 自社工場　多摩工場（東京都稲城市）
  千葉工場（千葉県成田市）
  茨木工場（大阪府茨木市）
  九州工場（福岡県古賀市）
  相模原工場（神奈川県相模原市）
- 関係会社　Indofood Comsa Sukses Makmur
  日爵海食品貿易（上海）有限公司



～沿革～

(株)ジェーシー・フーズネット

1964　㈱ジェーアンドシーカンパニー設立
　　米国から冷凍ピザ輸入販売を開始
1965　目黒工場建設　ピザ自社製造を開始
1969　九州工場建設　ピザの全国販売開始
1981　㈱ジェーシー・フーズに商号変更
1982　東京工場建設　ピザの量産体制を確立
1985　宅配ピザ 「ドミノピザ」 に食材供給開始
　　㈱ジェー・シー・シー設立（三菱商事㈱との合弁）
　　チーズの加工製造を開始
1993　日本証券業協会に店頭登録銘柄として登録
1996　デルソーレブランドで販売開始
1997　多摩工場新設

（株）コムサネット

1980　日本ケンタッキー・フライド・チキン㈱（略ＫＦＣＪ）が㈱インターナショナル・プロセス・フーズを設立
　　ＫＦＣＪ向けスモークチキン製造受託開始
　　ＫＦＣＪ直営店「京鳥」1号店「下高井戸店」開店
1988　ＫＦＣＪから「京鳥」の営業譲渡
　　外食事業を開始
1993　新規事業串焼き処「一番どり」1号店を「新小岩駅前店」に開店

（株）ジェーシー・コムサ

2003　㈱ジェーシー・フーズネットと㈱コムサネットが合併、
　　㈱ジェーシー・コムサ設立
　　㈱ファンシーコーポレーションを子会社化
2004　「ＩＳＯ９００１：２０００」の認証を登録
　　日本証券業協会への店頭登録を取消し、ジャスダック証券取引所に上場
2005　多摩工場スペシャリティブレッド（エスニックブレッドを含む）用新ライン増設
2006　㈱ファンシーコーポレーションが（株）ほのぼの運動を設立
2009　事業開発本部設立（海外事業への足場づくり）
2012　相模原工場新設
2014　Indofood Comsa Sukses Makmurをインドネシアに設立

DELSOLE デルソーレ　小麦ごはん ～世界のパン・シリーズ～

食料品事業

串焼処 一番どり

外食事業

ジェーシー・コムサ　グループ概要

トータルフードビジネスへの取り組み強化

JC COMSA Corp.

DELSOLE デルソーレ

食料品事業

PANE & VINO
串焼処 一番どり
菱膳 宅配専門
HARVESTER YAKUMO SINCE 1988 HOKKAIDO
郷どり
燦鶏
上海エクスプレス
牛傳
京島
ポポラマーマ
焼鳥 どり
文楽焼本舗
NY.NY
松花堂 円山

外食事業

生活のあらゆる場面で食の楽しさをご提供！

食料品事業

ご家庭で

外食事業

外出先で

職場で

ご家庭で

宅配事業

Ⅳ. 事業別紹介

「デルソーレ 小麦ごはん」 の価値・魅力を知って頂くためにＰＲ施策を推進

デルソーレといえば、「小麦ごはん」

- デルソーレブランドでは、ナン・ピタ・フォカッチャ・トルティーヤといった世界のおいしいパンを「小麦ごはん」として、様々なプロモーション施策を通じて発信しております。

- 2016年3月期は夏と秋にデルソーレのブランド認知とブランドロイヤリティを高めるために「デルソーレ・キッチン」と「ご当地ピザ選手権」を開催し、多くのメディアに取り上げて頂きました。

第1回　ご当地ピザ選手権

「ご家庭でピザを作ることの楽しさ」を伝えるために日本各地のご当地食材を使用した「ご当地ピザ選手権」を開催いたしました。7/1～8/28の応募期間中に355件の応募があり、9エリアの代表レシピを選出。
9エリアの代表レシピの中から9/16～10/15の1ヶ月間、一般人気投票により5レシピに絞り込まれ、グランプリ発表会で「NO1 ご当地ピザ」が決定されました。
グランプリ発表会では、多くのメディアが集まり、計313件に取り上げられました。

ピザを作って50年。ピザのパイオニアが自信を持って開発したピザや小麦ごはんのプロフェッショナルがお届けする「小麦ごはん」シリーズ。

●定番のピザから年末のスポット品や季節限定品まで幅広いバリエーションの商品を提供します。

【イベリコ豚とろける厚切りベーコンピザ】

【ポルチーニ香る塗りミックスピザ】

【スパイス香るタコスピザ】

【ちょっと贅沢なピザこだわりミックス】

【チーズとろけるマルゲリータ】

●「朝食」や「おやつ」にぴったりな商品！
　朝食やデザート等、様々な食シーンにぴったりな商品を提供します。

【inフォカッチャ　キーマカリー×チェダー】

【デルソーレ　クリスケット】

当社の商品「デルソーレ」ブランドは、百貨店、大手スーパーなどの店頭に並んでいます。
手作り感のある商品を数多く取り揃えております。

外食事業 業態構成

レストラン事業

串焼処 一番どり

茶室風・個室焼肉 牛傳 Gyu den

郷どり 燦鶏

焼鳥 をどり 炙り炭焼き

PANE & VINO

ゆであげ生パスタ ポポラママ Popolamama

HARVESTER YAKUMO SINCE 1985 HOKKAIDO

素材にこだわり、お酒とともに料理をお楽しみいただく。またご家族で気軽にお食事をお楽しみいただける、会食で大切な方と寛ぎの時間をお楽しみいただける･･･外食の様々なシーンにご利用いただけるレストラン業態を展開

テイクアウト事業

ひなやき処 京島

天狗茶屋

ひとつひとつ、お店で手作りをしているこだわりの商品をご自宅でお楽しみいただけます。有名百貨店、ショッピングセンターに展開

デリバリー事業

菱膳 宅配専門

HOMEMADE CHINESE DELIVERY 上海エクスプレス

ニューヨークスタイルの味とボリューム!! NY.NY Taste of Stylish Dishes ニューヨーク・ニューヨーク

松花堂 円山

本場中国で修業した料理人が作る本格中華、和の板前が丹精込めて開発した会席、お弁当。本格メニューをご自宅へ、職場へお届けいたします。

外食事業 ブランド展開

一番どり

契約農場から仕入れる選び抜いた鶏肉を使用した串焼き。
素材や季節に応じた料理を、お酒とともに気軽に楽しんでいただけるコンセプト。
1993年の1号店オープンから長く親しまれている居酒屋コンセプト。

郷どり 燦鶏

鹿児島県銘柄鶏「桜島どりゴールド」の串焼き、厳選した鶏肉や食材を使用した鶏料理専門店。落ち着いた空間で、素材の良さを堪能できる逸品料理をご堪能いただけます。

牛傳

真に美味なる料理は健康をになう食材から。茶室を思わせる和み空間で大切な人と過ごすくつろぎの大人の時間。指定生産者が育てた山形牛を中心とした国内黒毛和牛種を中心に、全てをプロが吟味した絶品焼き肉です。

をどり

をどり独自の調理法で旨味を逃さずご堪能いただけます。 をどりは国内有数の地鶏・銘柄どり「郷どり」を提供する焼鳥料理専門店です。 豪快な骨付きももや鶏料理、卵、食材は、産地にこだわり素材そのものを生かし提供します。 心も踊る、料理も踊る「をどり」。

外食事業 ブランド展開

ポポラマーマ

生パスタを中心としたカジュアルレストラン。「高品質でおいしいパスタを安く、早く出す」をコンセプトに、100%デュラムセモリナ粉使用の生麺を採用し、50種類以上のパスタを提供。ピッツァ、サラダ、アンティパスト、デザート等も充実。

ハーベスター

豊かな自然がいきづく農業と漁業の町、北海道八雲町。この豊かな大地に「食」の原点を学び、本物のおいしさを追求しています。絶景のパノラマレストランでは地元北海道で収穫された新鮮な食材を使い、季節感溢れる料理を提供しています。

京鳥

ハーブで育てられた国内産の厳選されたひなどりを一本一本丁寧に焼き上げています。塩や秘伝のタレにもこだわり鶏の美味しさを追求しています。鶏惣菜やお弁当などご家庭やパーティでご賞味いただけます。全国百貨店に出店。

おめで鯛焼き本舗

ゑびす黄金鯛焼き･夢ある町のたい焼き屋さん

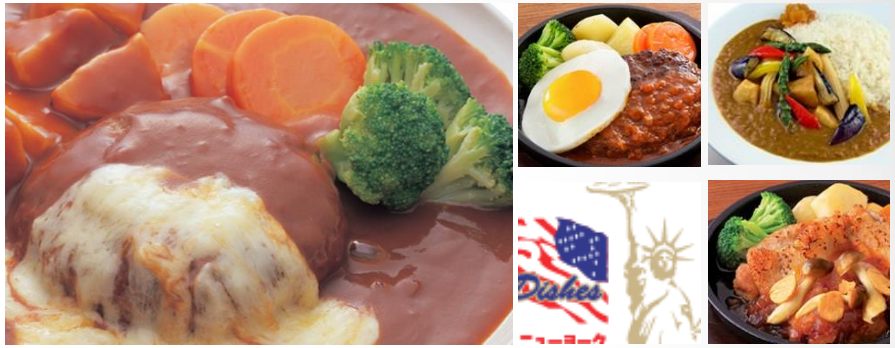
北海道十勝小豆の自家炊きあんこの「つぶあん鯛焼き」は絶品。軽いお食事にもなる「お好み鯛焼き」は定番の人気。季節やおすすめの限定鯛焼きもご用意。実演で見る「焼き手の調理」姿もまた、鯛焼きコンセプトの名物となっています。

外食事業 ブランド展開

上海エクスプレス

上海エクスプレスでは、本場中国で修行を積んだ料理人が腕をふるっています。素材やシーンに合わせた多種多様な本格中華をお電話、WEBから気軽にお楽しみいただけます。

ニューヨーク・ニューヨーク



ニューヨーク・ニューヨークは、洋食レストランの味をご自宅でお楽しみいただけるコンセプトです。高温のオーブンでじっくり焼き上げたグリルメニューの数々はお子様にもお楽しみいただけます。

菱膳

四季が織り成す豊かな日本の旬の味に手づくりのまごころを込めてひとつひとつ丁寧に詰め合わせています。旬の新作弁当は味わうごとに旬のおいしさを感じてください。お客様に飽きられないこと、それが菱膳の想いです。

松花堂 円山

『松花堂 円山』 本店の会席御膳は、日本料理の正式な膳立てである本膳料理が基本。厳しい修業をした職人のみが織り成す美しい匠の技から生まれたすべての工程が板前の手作りによる彩り美しい会席御膳は他にない贅沢です。

外食事業 新規ブランド展開

PANE & VINO

素材と手作りにこだわった、ピザ・パスタ・ワインの店。臨場感ある高温の石窯で焼きあげたピザは 最高の味わいです。前菜からデザートまでのアラカルトメニューも無添加で一から手作り。自家製の生ハムやサラミやサルシッチャは必ず満足いただける逸品。ピザ・パスタやアラカルトに合う厳選した世界各国のワインもお手頃にそして豊富に取り揃えています。

東北自動車道 上り線「羽生パーキングエリア」に2013年12月にオープンした「鬼平江戸処」。

鬼平犯科帳をテーマとした施設内に「人形焼・たい焼 文楽焼本舗」を出店。当社で人気の鯛焼きと、笑顔の人形焼をメイン商品として販売しています。江戸の表情として「人情の世界」と「豊潤な食の世界」を切り出した鬼平江戸処は、江戸の世界にタイプスリップして江戸の魅力を大いにお楽しみいただけます。「笑顔の人形焼」は、お土産としてご好評いただいています。

外食事業 テイクアウト並びにケータリングサーサービスの強化

TOKYO
Miyako-dori

多様なコンセプトを運営するジェーシー・コムサの
和食・洋食・中華・寿司・オードブル ケータリングサービス

海外事業への取組み

2014年3月にインドネシアの**PT Indofood CBP Sukses Makmur Tbk**（インドフードCBP社）と合弁会社**Indofood Comsa Sukses Makmur**を設立し、生パスタとナポリ風ピザに特徴を持たせたファミリー型和風イタリアンカジュアルレストランのチェーン展開を始めました。

合弁相手先であるインドフードグループは、世界でも最大規模の製粉事業を行い、即席麺をはじめとする日常食品、農業や飲食事業などの幅広い食料品製造販売を展開しています。

2014年6月のPopolamamaブランドでの1号店開店に続き、ジャカルタ市内の大型ショッピングモールに2店を開店、2015年5月にはイオングループが初めてインドネシアでオープンした大型ショッピングモールにPopolamama4号店が開店、さらに2016年6月には南ジャカルタに5号店（ＣＩＴＯＳ店）が開店しました。すべての店舗はハラル認証を取得しており、今後さらに好立地での出店を目指して現地に溶け込む事業の拡大を図ります。

Indofood Comsa社の合弁事業

1号店　Indofood Tower
（2014年6月開店）

2号店　Mall Taman Anggrek
（2014年6月開店）

3号店　Plaza Grand Indonesia
（2014年7月開店）

4号店　AEON　Mall　BSD
(2015年5月開店)

5号店　ＣＩＴＯＳ
（2016年6月開店）

Indofood COMSA

本資料のお取り扱い上のご注意

本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては、正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及又は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることがあることをご承知おきください。